

第三十回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 中学生の部

No.	賞名	作	品	学校名	学年	氏名
1	市長賞	七分間思いを全部音にのせ一音入魂金賞めざす		南	3	小出 和
2	教育長賞	震える手強く握って目を閉じる応援を背に水へ飛び込む		北	3	今村 悠奈
3	秦野中ロータリークラブ賞	ミスをして落ちこんでるとドンマイとはげましてくる仲間がいる		南	1	斉藤 美帆
4	第三十回記念特別賞	歓声と期待の募るマウンドで大きく見える親友のミット		北	3	岸本 廉
5	村岡嘉子選者賞	海の中四季の日ざしが色々と 海も季節をあじわっている		南	1	山口 優香
6	佳作	頼朝の九百年もの時を経て今につがれし源氏の心		東	2	桐山 竜弥
7	佳作	気持ち込めずと奏でたあの曲は君と過ごした夏の証だね		南	3	遠藤 佳音
8	佳作	江ノ電の窓から見える青い海白い波のパフォーマンスだ		東	2	後藤 明日香
9	佳作	暗がりになきなひかり差しこんで託してみよう願いをひとつ		東	2	加藤 真由
10	佳作	夏の夜散りゆく花火明日には楽しい瞬間も記憶となつて		本町	2	村永 実里
11	佳作	横浜の街にたたずむ街路樹木もれびにゆれる自らの影		西	2	柳沢 和輝
12	佳作	母さんが今度の試合見に行くと僕の背中におもりをのせた		鶴巻	2	有山 燦吾
13	佳作	鎌倉の小町通りは人の波 波に押されてかじとり利かず		南が丘	2	佐藤 蒼生
14	佳作	夕暮れの見えなき道を進みながら友との絆深まる予感		北	3	久保寺 隼也
15	佳作	雲の上部活帰りに見えるのは消えかかっている七色の虹		本町	3	野村 ののか
16	佳作	もどせたらあの後悔をなくせるかそんな自分が苦しくなつて		南	2	野村 朱里
17	佳作	真剣にうなづいてくれる先生の笑顔にいやされ明日もがんばる		大根	3	関野 珠李亜
18	佳作	次こそは音の波に乗ってやる 音楽会は沈没しない		北	3	長瀬 あみ
19	佳作	木もれ日が差しこむ水で清めるは冷たい銭と熱い願望		南が丘	2	岩永 林太郎
20	佳作	空を見る雲が動いて青い空 宇宙へとんでしまえそうだよ		大根	1	全田 有
21	佳作	江ノ電は海の潮風新緑を浴びながら行く緑の車体		東	2	谷口 大翔
22	佳作	大山にきりがかかつてずつしりと白くぼやけて風呂上りかな		渋沢	2	松本 創平
23	佳作	江ノ電の窓からあふれる波を越えきぶんはかもめもうすぐ鎌倉		東	2	鶴谷 葵利香
24	佳作	夏祭りたくさん遊んだテスト前次に来るのは後の祭りだ		鶴巻	2	荒井 仁詠
25	佳作	本棚に増える喜びこの場所は部屋の中でも僕だけの書店		南	3	富永 淳紀